

さあ、ここからだ



JA掛川市 令和4年度 上期決算報告

コロナ禍前の水準に

JA掛川市では、令和4年3月1日から8月31日までの上期として仮決算を行っています。この結果、上期は購買、販売、信用、利用事業で前年度の実績を上回りました。特に農産物直売所の新鮮安心市場さすが市は、リニューアルオープンから3年を迎えた今年度、販売金額、来店者数ともに過去最高を更新。農作業の受託事業を行うあぐりサポート掛川では、200件を超す作業件数となりました。それに加えて、人件費などの事業管理費が削減されたことで、事業の成果を示す事業利益はコロナ禍前と同程度の170,095千円となりました。下期は年間事業計画の達成に向け、各部署で継続した取り組みを進めていきます。

営農

米

早期コシヒカリは、昨年のような強く乾いた風の影響も無く、気温が高く、日照時間も多く推移したため、茎数、草丈は平年並みで良好な生育となりました。中干し時期に降雨があったことから中干しが不十分で根が弱くなり、7月以降の降雨により多くの圃場で倒伏が発生しました。収穫量は、圃場差がありますが、8・5俵となりました。品質については、講習会などで適期防除

やヘリでの一斉防除の呼びかけによりカメラ類の被害は少なかったです。育苗センターでは、新品種のにじのきらめきの導入を行いました。

青果

苺は3月以降の出荷量が過去最高となり、業務需要の回復や家庭内消費が増えたことで、昨年に引き続き販売実績を増やすことができました(計画比135・7%)。生産法人を中心に新規作物の出荷を行い、販売額の向上に努めました。

さすが市は販売金額、来店者数ともに過去最高

さすが市出荷者や新規栽培者へ育苗センター苗の供給を行うなど、作付け推進を行い野菜の作付面積拡大に努めました。

(前年比116・3%、計画比111・1%)となり増えました。新規出荷登録者が23名増え、品物が充実したことなどにより販売金額、

来店者数、客単価において昨年を上回る実績となりました。

花卉

バラ、クルクマについては、昨年に比べ出荷本数は少ないものの、イベントや婚礼需要の回復により高単価での販売ができました。夏場のバラ販売は、猛暑の影響で下位階級中心の出荷となりましたが、輸入が少ないことから例年と比べ堅調な価格帯での販売ができました。

茶業

茶市場

茶消費量の減少に伴う先行きの不透明さから、掛川茶市場の上期取扱い実績は引き合いが弱く、軟調な相場展開が継続されました。一、二番茶ともに、前年度の平均単価を大きく下回る厳しい取引結果となりました。近年、SDGsやみどりの食料システムへの関心が高まる中、掛川市北部地域では有機茶専用工場「かけがわ有機の郷(さと)」が一番茶より操業を開始しました。有機栽培茶の需要は高く、有利販売することができました。

緑茶加工

上期事業実績は販売金額296,501千円で、年間計画対比45・6%、上期計画比84・7%、前年対比85・9%となりました。荒茶販売は、安価な価格帯の販売は伸びたものの、高価格帯の販売は厳しい状況となり販売数量前年比106・2%、金額対比93・5%でした。仕上茶販売は、粉碎加工品等の販売が増加しました。新型コロナウイルスの影響が続く中で、物価高騰の影響もあり業務用を中心に厳しい販売状況となりました。販売数量前年比84・5%、金額対比84・5%でした。

畜産

外食需要の減少により牛肉などの需要が減りましたが、枝肉や乳質の共励会による研修会を開催し品質の向上を図りました。

さすが市

いっふくを含むさすが市の上期販売実績は、販売金額428,813千円



購買

生産資材

7月に開催予定だった農機具大展示会は、コロナ禍により中止となりました。JA主催の夏の展示会は7月29日、30日に本所で開催し、107,600千円の実績と推進活動の成果が現れました。各営農経済センターで出向く体制による肥料・農薬 資材関係の推進を行い、実績

生活資材

7月からJA健康サロン(健康器具)を西郷支所で行うなど、販売強化を図りました。夏の展示会では、本所2階を生活展示会場としました。昨年より多くの出店があり、来場者が増えました。

上期事業別総合実績

令和4年3月1日～令和4年8月31日

(単位:千円) 共済はポイント

事業	年間計画	8月末実績	前年実績	計画対比	前年対比
貯金	114,500,000	115,498,032	113,650,825	100.9%	101.6%
貸出金	33,500,000	33,137,923	32,166,333	98.9%	103.0%
長期共済	8,800,000	4,765,963	4,874,900	54.2%	97.8%
生産購買	1,539,000	1,002,875	1,001,524	65.2%	100.1%
生活購買	732,000	386,078	366,188	52.7%	105.4%
一般販売	1,349,000	746,187	688,915	55.3%	108.3%
さすが市	770,000	415,561	355,682	54.0%	116.8%
茶販売	1,700,000	1,331,648	1,498,558	78.3%	88.9%
緑茶加工	650,000	296,501	345,344	45.6%	85.9%

主任事業の一環として、さすが市店頭を利用しかけがわ茶ボトルなど生活資材の

販売とPR活動を行いました。生活部門全体では計画比111.5%の実績となりました。

あぐりサポート掛川

新規作物の導入を目的に、耕作放棄地などの整備再生を行うあぐりサポート掛川では、最新鋭の大型ハンマーナイフモアでの粉砕作業のほか、草刈り、耕起、粉砕後の伐根作業の受託依頼が増加しました。



やすらぎ

葬儀業界の情勢と葬送ニーズを把握し、サービス内容を随時見直すなど適正な価格でサービスの提供に努めました。葬儀施工件数は179件で271、756千円の実績となりました。ホール葬儀140件、家族葬29件、自宅葬と寺院葬が

10件で、組合員利用率は正組合員54%、准組合員は26%と多くの組合員に利用されました。葬儀の事前相談や葬儀後のアフターフォロー(墓石、仏壇等の推進)にも積極的に取り組み、ご葬家様に寄り添う葬儀を目指しました。

信用

創立60周年を迎えるにあたり「ありがとう!おかげさまで60周年」を掲げ、農業・地域振興における一層の金融仲介機能の発揮により、組合員・地域に選ばれ、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けた事業展開に努めました。また、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、組合員・利用者の健康と安全に最大限配慮した上で業務運営に取り組みました。

6月、7月にはサマーキャンペーンを実施し、期間中は多くの皆さまに定期貯金や

JAカード等のご契約をいただきました。併せて年金感謝デーも実施し、期間中は4,696名の年金振込み者の皆さまに「大阿蘇牛乳かりんとつ」をプレゼントさせていただきました。

本年4月に各営農経済センターより4名の職員が「農業融資相談員」に選任され、農業融資渉外、支所融資担当と連携して農業融資相談に対応しました。農業融資新規実行額は92,701千円の実績となりました。マネーアドバイザー(MA)とともに「地域に向く体制」の機能を発揮し、組合員・利用者との対面による高度な相談対応、資金提案に努めました。

総務

基本方針に沿った事業運営に努め、持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた組合員加入促進や財務内容の健全化、職員教育の充実等に取り組みました。

リスク管理態勢の充実に向け不祥事の発生を抑制するため、点検・検証だけではなく日常的な逸脱処理の発生に対しての「プロセス段階」からの検証の強化、さらにはその実効性を高めるための「リスク管理の3線防御体制」の構築を6月から実施しました。1線部署における事務処理の正確性や検証の適正性、3線部署は2線部署の指導状況も合わせみることで三層構想のリスク管理体制を構築し、より一層の内部管理体制の充実を図ります。

組織基盤強化のための組合員加入促進活動では、今年度も総合事業を活かした未加入利用者向け推進(金融部門との連携)を実施しました。財務の健全化施策として、事業管理費の適切な管理や財務内容の健全化に努め、経費削減・遊休資産の解消に向けた処分・利活用を進めました。正確な資産自己査定を実施し、延滞債権および固定化債権の管理・回収に努めます。

職員教育では、次世代を担う若手層職員への教育プログラム研修の実施や管理職層や中核的人材の育成研修プログラムに取り組むことで組合員・利用者ニーズに応えられる組織を目指すとともに、自ら変化をつくる組織となるためのスキルアップ研修を実施しました。

令和5年度は農協役員の改選期



農業とJAの将来を託せる信頼と行動力のある人を役員に

令和5年度は、農協役員の任期満了による改選の年です。役員は、これからのJAがどうすべきかを考え、示し、行動することが求められます。また、JA経営の健全性・透明性の確保等JAに求められる課題は高度化・複雑化しており、求められる知識も高まっています。農業とJAの将来を託せる人を選びましょう。

理事選任にあたっての方針

- 農協法の構成要件に対応するために、理事の過半が認定農業者及び実践的能力者となるように選出する。(実践的能力者とは、その知識や経験がJAの事業・運営に生かせる者であることが必要であり、JA・連合会またはJAと同種の事業を行う法人等の管理職経験者、販売、生産購買等の事業に長年従事した者などが対象となります。)
- 農協法の趣旨を踏まえ、青年卒の選任については年齢基準49歳以下とし、女性卒についてもJA女性部などの組織活動の務め手、または実践的能力者とする。
- 認定農業者の要件に該当し、基本的な役員の資質に該当する者を積極的に候補者とする。
- 認定農業者や実践的能力者以外でも、JA経営や農業振興、地域振興に寄与できるものは法が認める範囲で理事に登用できるものとする。

このような人を役員に

- 農業・JAの将来について語れる人を!
- 事業を率先して利用し、かつ健全な利用関係にある人を!
- 責任感があり、公平で組合員の信頼が厚い人を!
- 農業・JA事業の知識や経験を有し、農業振興・JA事業に関する能力のある人を!
- 全JA的な立場に立って合理的な判断を下せる人を!
- 事業展開に前向きな感性を持っている人を!
- 業務知識の習得など、たゆまぬ自己啓発に努める人を!
- 組合員のために行動し、健康で任期をまっとうできる人を!

※JAの内規では、常勤役員は就任(再選による就任を含む)の日の属する年の3月31日における満70歳以下であることとしています。

理事の役割

選ばれた理事全員で構成する理事会は、組合長など常勤理事と一体となって組合の業務執行を決定しなければなりません。非常勤の理事であってもJA経営者の一員。高度化・複雑化する事業運営を適確に行い、自己責任経営を担っていかなければなりません。また、組合員のニーズを汲みあげてJAの運営に反映させる組合員のリーダーであるとともに、全JA的な視点に立ってJAの改革をすすめる力も求められます。

監事の役割

監事の主な役割は、組合の運営が健全かどうか、組合員の負託に応えているかどうか理事の職務執行を監査すること。単に理事の業務執行を監査するだけでなく、組合の事業の運営が適法・妥当かを役員立場から俯瞰的・網羅的に監視する必要があります。このため、JAの組織・事業に精通し、かつ全JA的な視点から意見を表明できることが求められます。

今回(令和5年5月総代会)改選からの変更点

これまでは女性卒2名、青年卒1名と選出人数が決まっていたが、今回の改選から下記の表の通り、全区域卒より女性卒、青年卒とします。監事については、区域からの選出を基本としますが、選任が困難な状況を鑑み全区域からの選出とします。

区域・区分	理事	監事
東部	東山	4人
	日坂	
	東山口	
	西山口	
北部	倉真	4人
	西郷	
	原泉	
	粟本	
西部	原田	4人
	原谷	
	和田岡	
	桜木	
南部	曾我	4人
	西南郷	
	掛川	
上内田		
全区域	2人以上 3人以上	
学識経験者	1人	1人以上
員外監事		2人以上
合計	19人以上 20人以上	5人以上 6人以上

損益の状況

令和4年3月1日～令和4年8月31日 (単位:千円)

科目	年間計画	令和4年8月末実績	計画対比
事業総利益	1,901,843	1,106,114	58.2%
(信用事業)	642,840	376,759	58.6%
(共済事業)	570,000	299,453	52.5%
(購買事業)	389,500	253,423	65.1%
(販売事業)	159,296	95,556	60.0%
(加工事業)	150,000	81,494	54.3%
(その他事業)	40,317	22,509	55.8%
(指導事業)	▲50,110	▲23,083	46.1%
事業管理費	1,891,000	936,019	49.5%
(人件費)	1,310,000	648,344	49.5%
(施設費)	316,000	162,541	51.4%
(その他)	265,000	125,133	47.2%
事業利益	10,843	170,095	1,568.7%
事業外損益	107,814	138,762	128.7%
経常利益	118,657	308,857	260.3%
特別損益	▲10,000	▲79,279	792.8%
税引前当期利益	108,657	229,578	211.3%

事業管理費率 84.62% 労働分配率 58.61% 自己資本比率 17.74%

共済

「安心」と「信頼」で地域をつなぐJA共済を目指し、ライフアドバイザーやスマイルサポーターを中心に、相談業務や保障点検に取り組みました。新設の認知症共済と令和3年度の新医療共済「メディフル」を軸とした生存保障分

野の案内活動や、お見積もりキャンペーンを活用した複数提案を通じ「ひと・いえ・くま」の総合保障の確立を図る普及活動に積極的に取り組みました。自動車事故受付や建物・生命共済等の共済金支払い処理を正確・迅速に行い、契約者の生活保全の一助となるよう努めました。